



コラッジョ!!
Coraggio!!
Il sogno di Don Bosco continua...
ドン・ボスコの夢は続く

contents / 目次

prologue	予兆	5
chapter 1	出会い	21
chapter 2	信じる	41
chapter 3	あきらめない	59
chapter 4	故郷	83
chapter 5	勇気	103
chapter 6	けんしん 献身	125
chapter 7	共にいる	143
chapter 8	守りぬく	159
chapter 9	いの 祈り	179
epilogue	出発	193

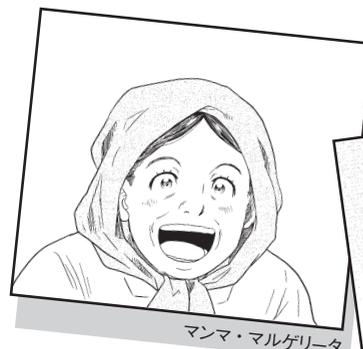
column

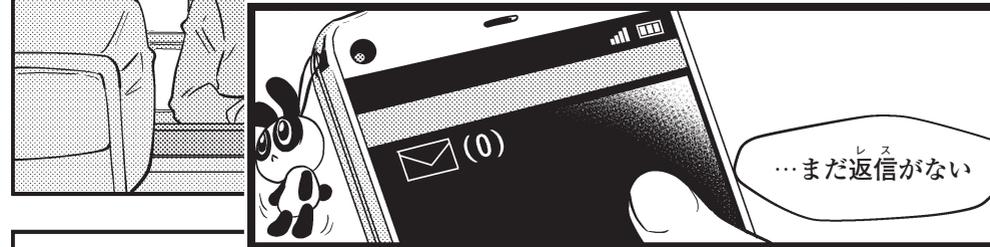
- ここどこ？ オラトリオって何？ 40
- 神父さんって？ 58
- 当時の子どもたちってどんな問題を^{かか}抱えていたの？ 82
- 学校に通えないって、どうして？ 102
- 不思議な夢だけど、ほんと？ 124
- ドメニコって不思議な子だけど… 142
- キリスト教って、どうして始まったの？ 158
- キリスト教徒って、どんなふう^{にか}に生活するの？ 178

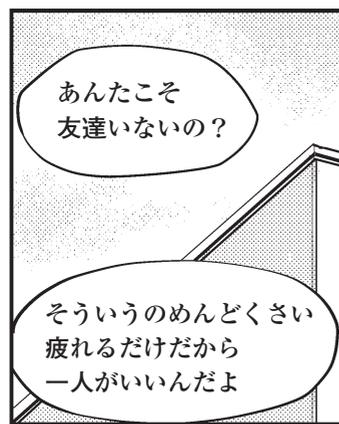
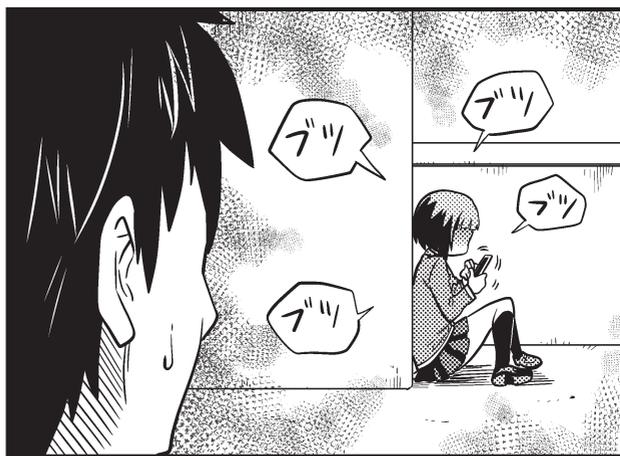
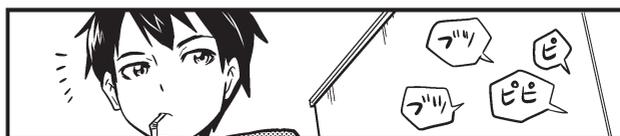
年表：ドン・ボスコの生涯^{しょうがい} 202

読者の皆さんへ 浦田慎二郎^{うらたしんじろう}
(サレジオ会司祭・ドン・ボスコ研究家) 204

漫画家 鈴木ぐりのあとがきへの道！ 206







* SNS = ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。インターネット上のコミュニティでメッセージや写真・動画等の情報を発信・共有するサービスのこと。

ネット上の「知り合い」同士で
笑いあったり、気遣いあったり

そんな薄っぺらなつながりで
友達なんて言えるのか

そうかと思えば
面と向かってないの^{いいこと}に
平気で人を傷つけて袋叩きにする

まあ
これが人間ってやつ
なんだろ

いったい何を
信じていいんだか

まともに付き合っていたら
頭がおかしくなる

なら勝手気ままにゲームでも
やってるほうがいい

お前よく平気だな

…平気じゃないよ

…やりとりしてないと
自分が仲間はずれに
されるんじゃないかって
不安でたまらなくなる

だからとりあえず
嫌われないように会話
してるんだけど…

気を遣いすぎたり
返信がないとイライラしたりで
疲れちゃうんだよ

でも
気になって
やめられないの！

お前なりに
大変なんだな

うおーん



なんだ
またマナか

あ！リク
いいところに！

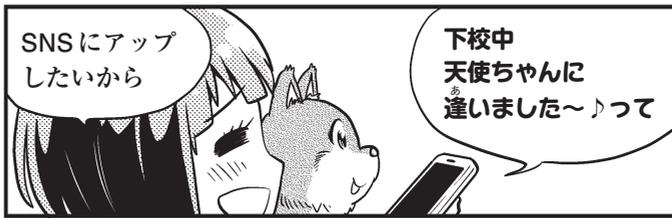


見てこの子犬
かわいいでしょ〜♪



ちょっと
写真とってよ

は？



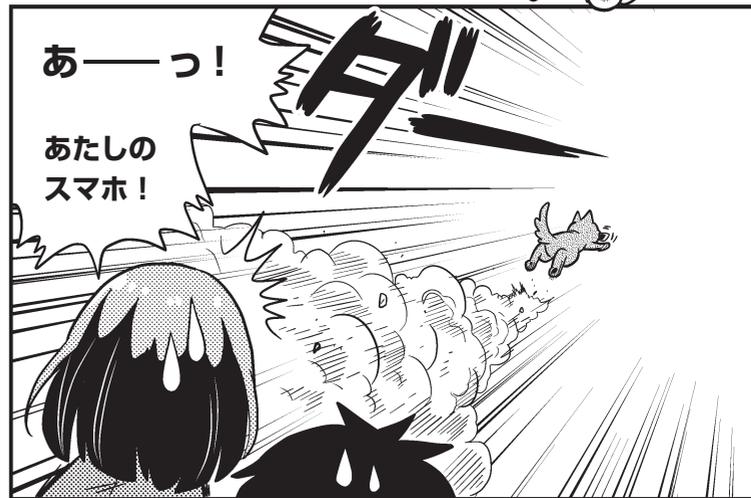
SNSにアップ
したいから

下校中
天使ちゃんに
逢いました〜♪って



そうやって
楽しく生きてます
アピールかよ

あざといなあ



あ——っ！

あたしの
スマホ！



い…いいでしょ！
そんなこと言ったら
なんにもできなくなるじゃない

あーあ
だから人付き合いは
めんどくせえ！

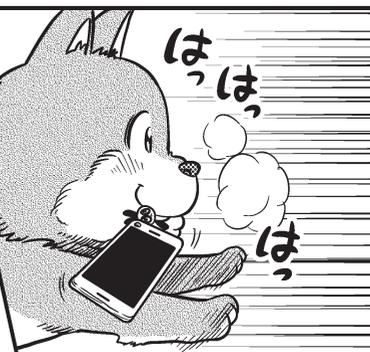
ちょっとリク！
いいから写真を…



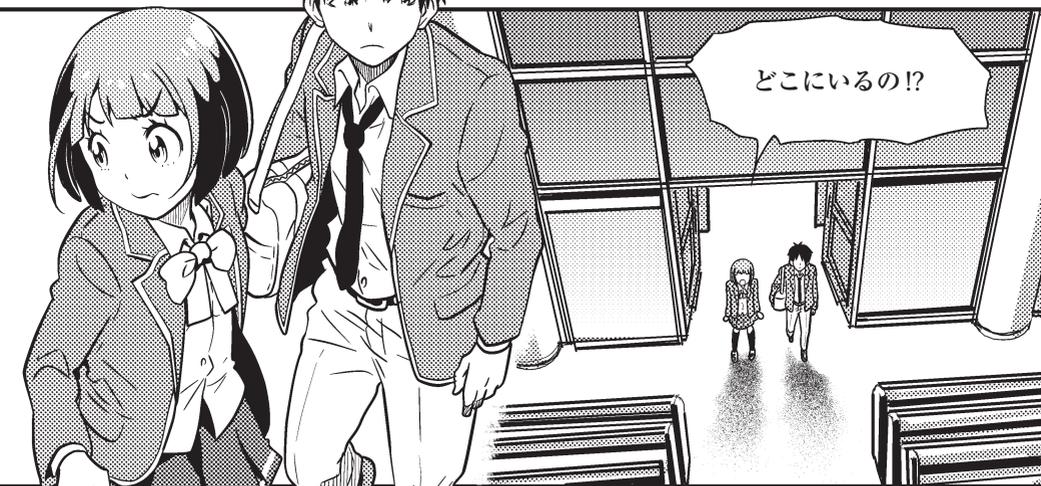
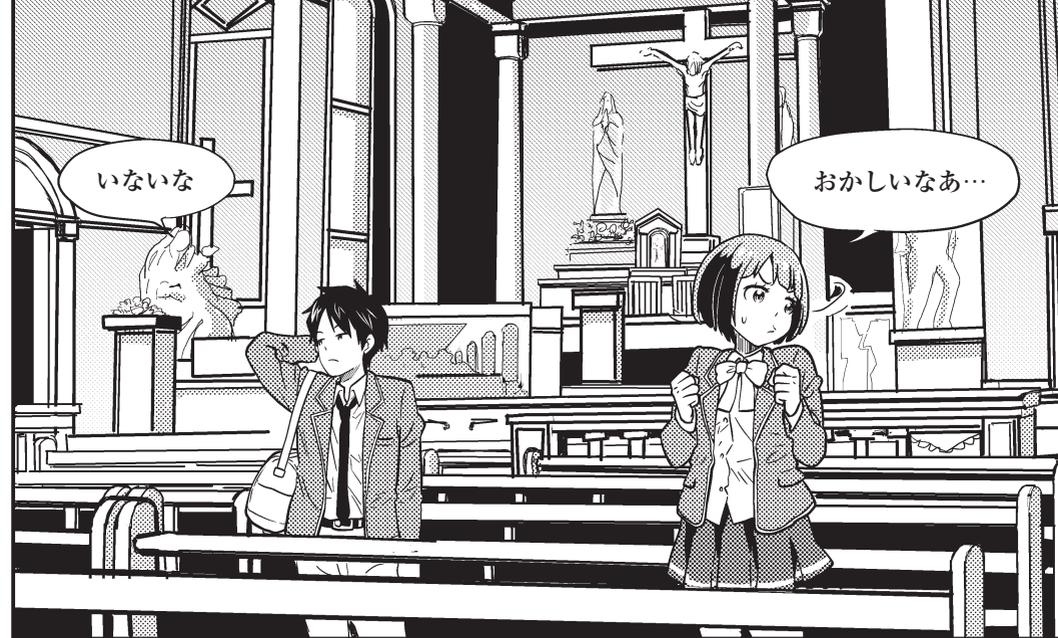
ちょっと
なんなの!?

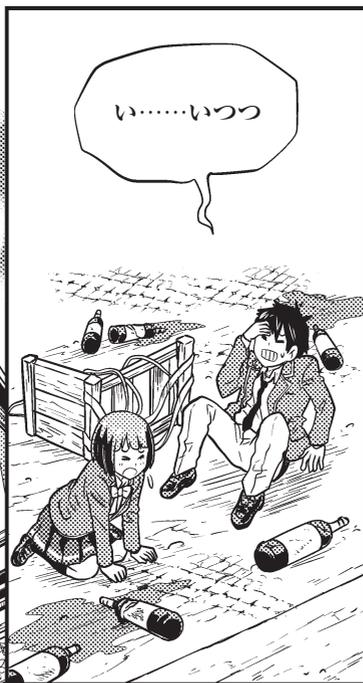
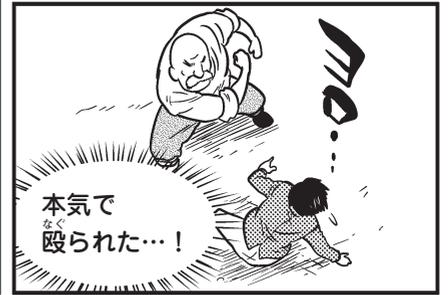
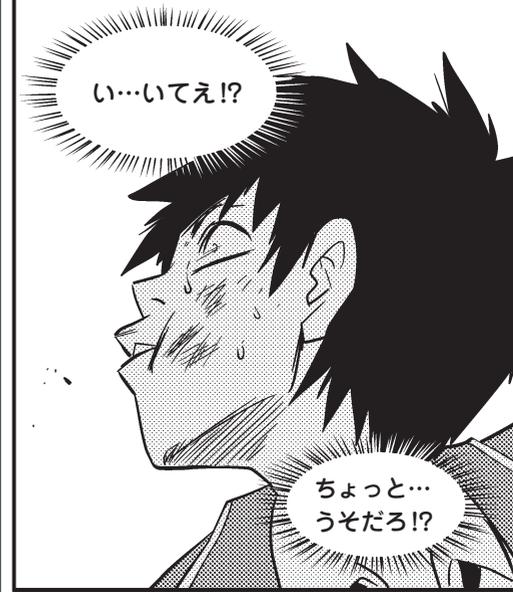
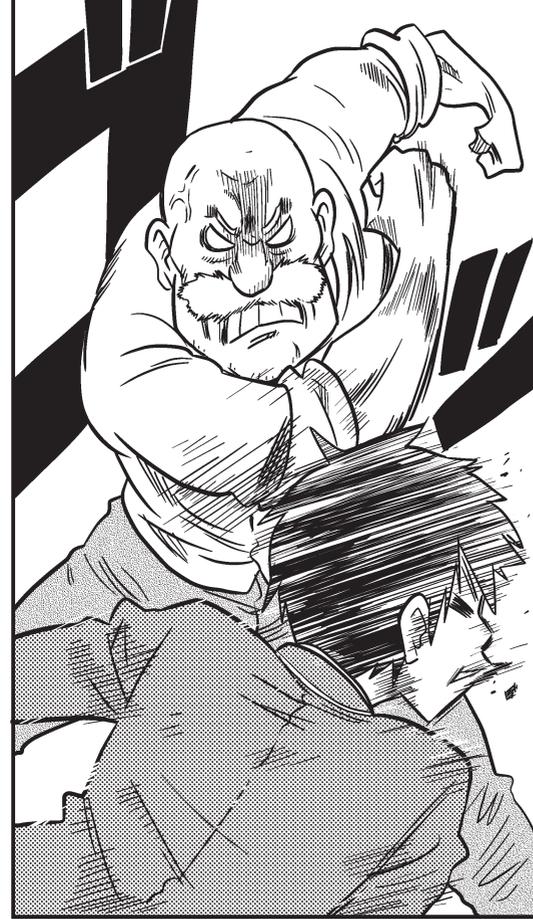
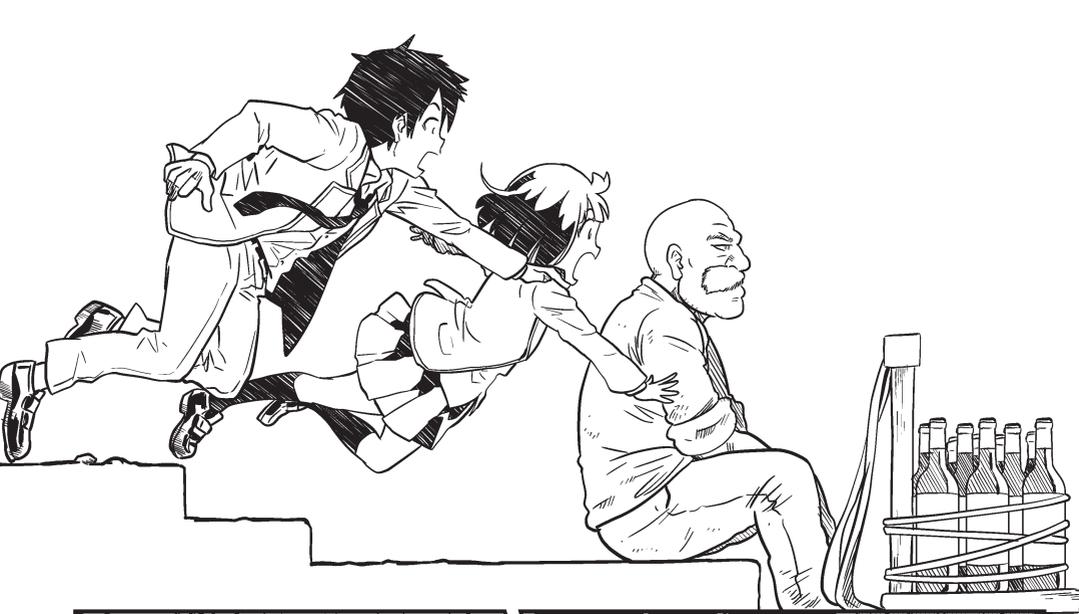
待ちなさい！

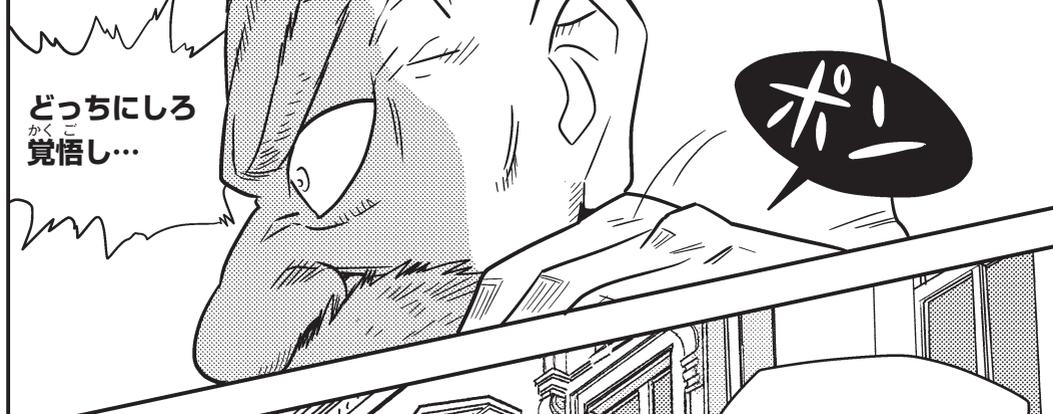
あ…おい！



はっはっ
はっはっ







chapter 1

出会い





177と
マナカ
良い名前
だね

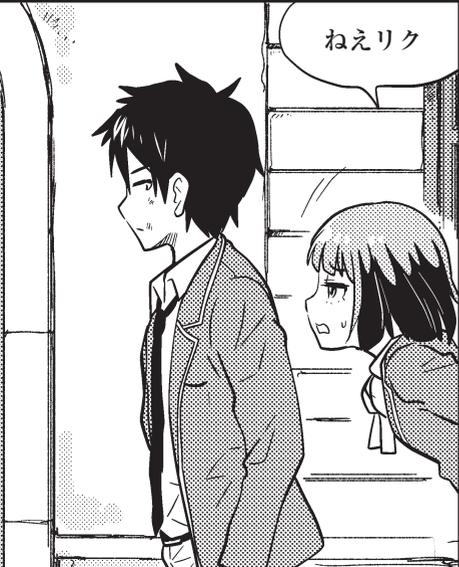
私は
ドン・ポスコ

この街に住む
神父だよ

もし困っているなら
オラトリオに来るかい？

俺たちは
ドン・ポスコと名乗る人に
助けてもらい

わけもわからないまま
後についていくことにした



ねえリク

一応
助けてくれた
けど…
この人信用して
いいの？

信用なんか
してるかよ



子犬を追いかけていたら
急にこんな世界に
なったんだ…

何が起こってるのか
全然わかんないし

とりあえず
あの場から逃げるために
ついてきたけど

こんな時に
優しくしてくれる人間なんて
ろくなもんじゃない



全部
聞こえてるよ

あ



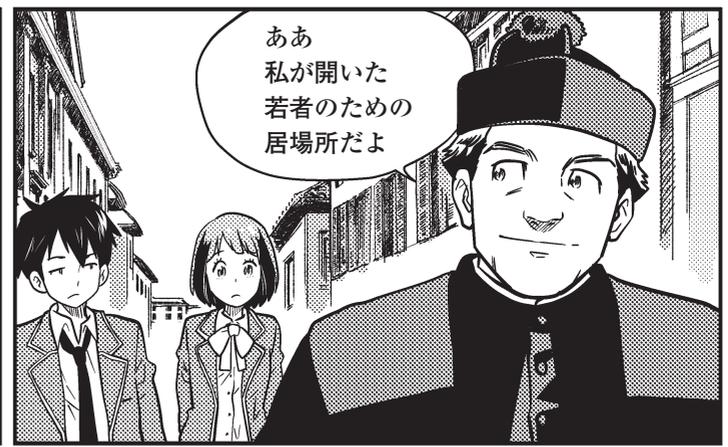
大丈夫！

オラトリオには
君たちぐらいの若者が
大勢集まる

安心して



あ…あの
オラトリオって
なんですか？



ああ
私が開いた
若者のための
居場所だよ



そこには
子どもたちが大勢集まり

遊んだり

勉強したり

お祈りしたり

歌を歌ったり
しながら
過ごすんだ

食事だって
出さぞ!

気に入ってくれたら
いつでも遊びにきて
いいんだ

そうだ

もし行くところがないなら
しばらくオラトリオで
暮らすといい

い…いえ!
見ず知らずの人に
そこまでは…!

あれが
オラトリオだ

今は好意で部屋を
貸してもらってるんだけどね

パローロ侯爵夫人の
慈善施設リフージュ

カサ

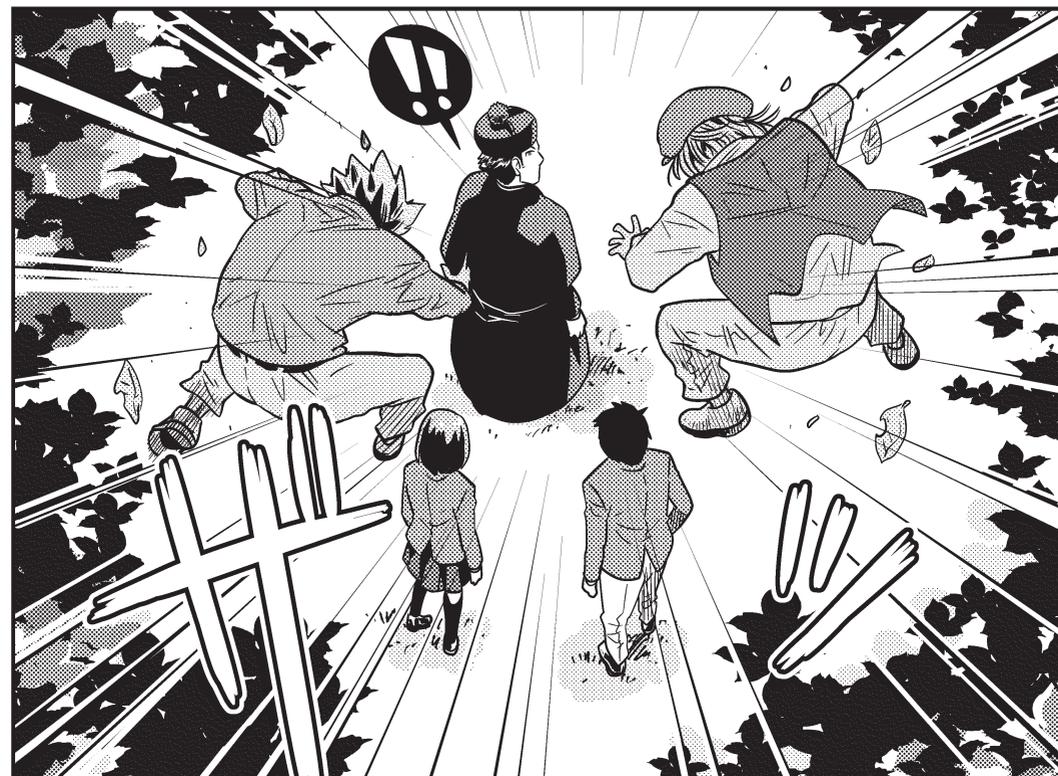
さあ
行こう

はっはっは
私たちはもう友達だ

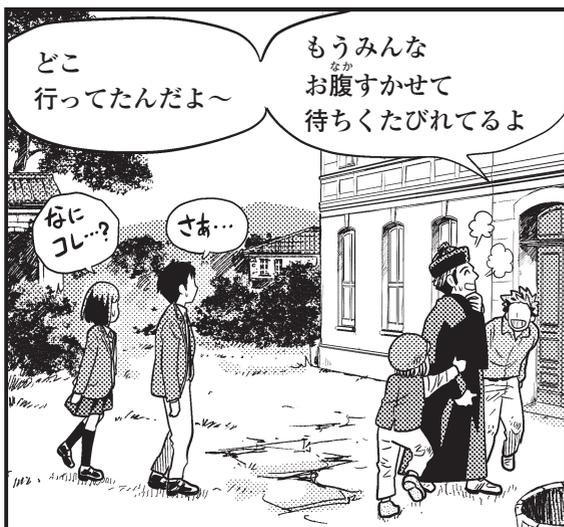
何も心配
いらない

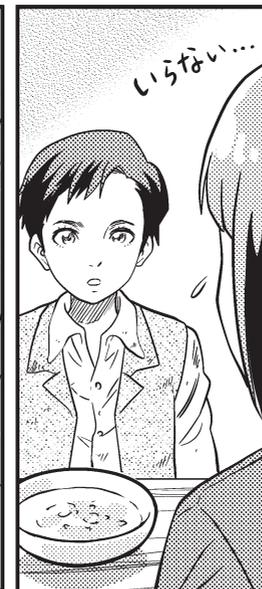
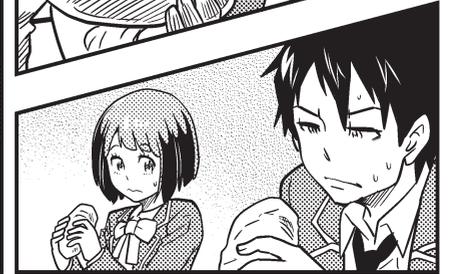
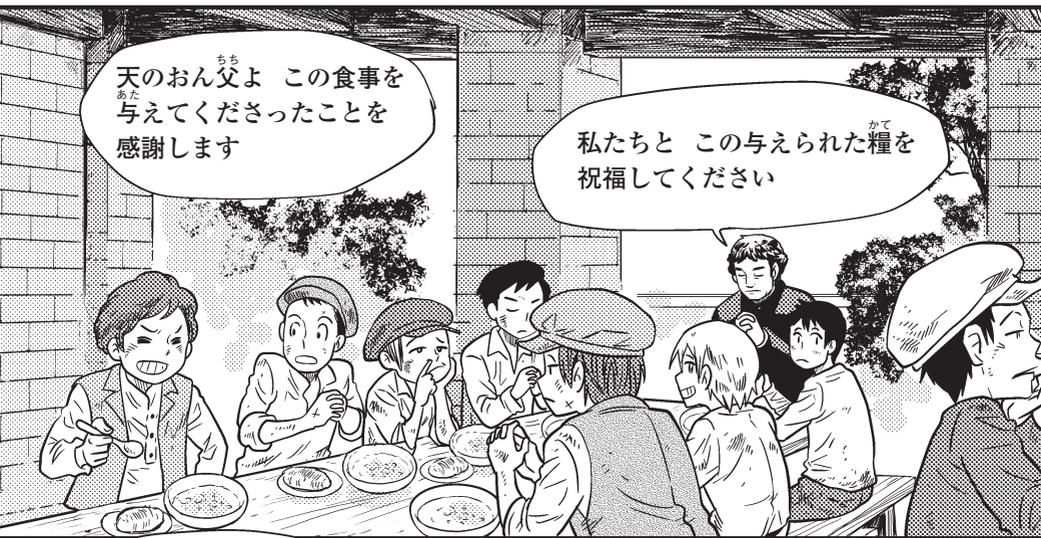
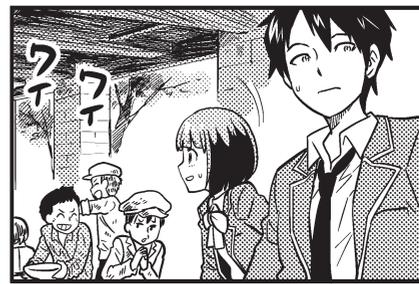
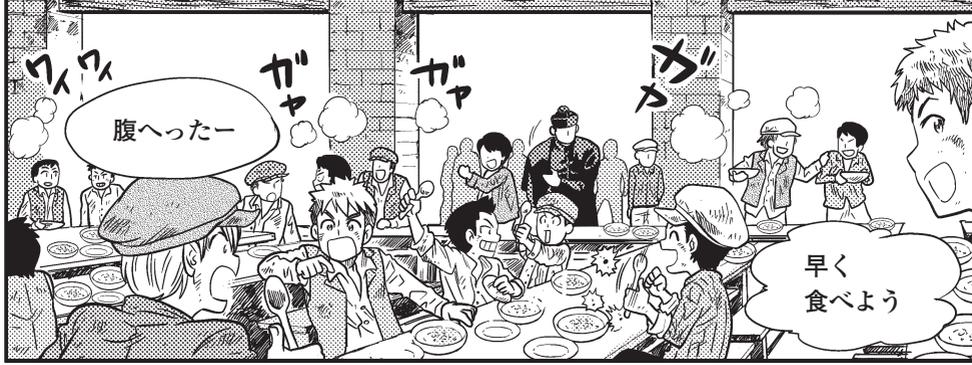
ほら
見えたよ

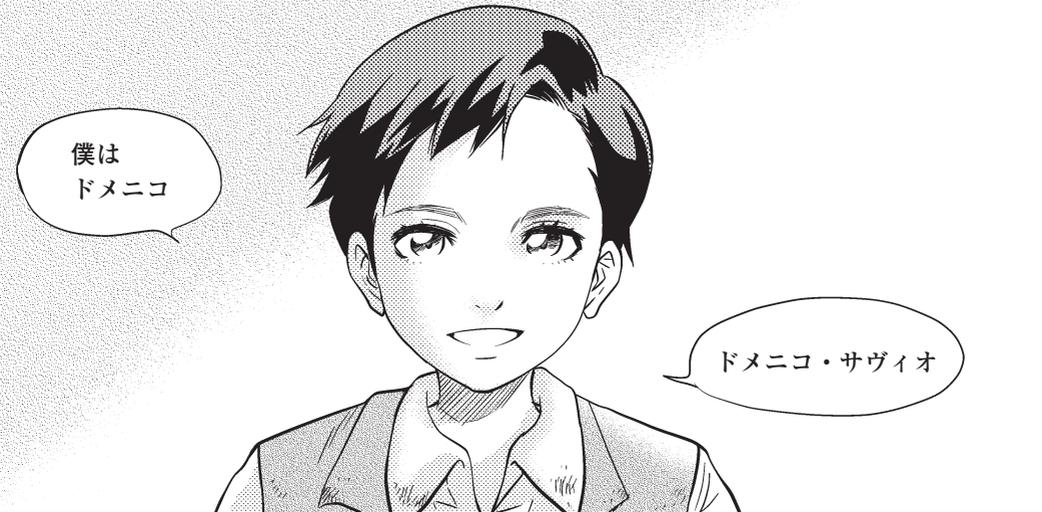
あははははは



ドン・ボスコオオオ!!!









あの…
まだよく
オラトリオってのが
わからないんだけど…

そうだなー
みんな色々だけど
俺は神父になる勉強をしに
カステルヌオヴォから
来てるんだ

ここに集まる子って
どういう子たちなの？

他のやつらも
ドン・ボスコみたいな
神父になりたいのめいれば
パンや居場所を求めて
通ってるやつが多いな



共通して言えるのは
みんな親元を離れて
働いていたり
一人親で貧しい子だったり
苦労している子ばかり

ここは
僕たちの心の
よりどころなんだよ



ドン・ボスコは
このオラトリオで
俺たちのような貧乏なやつらに
勉強と神様のことを教えて
一緒に遊んでくれる

俺は
ドン・ボスコをずっと
守っていくつもりだ

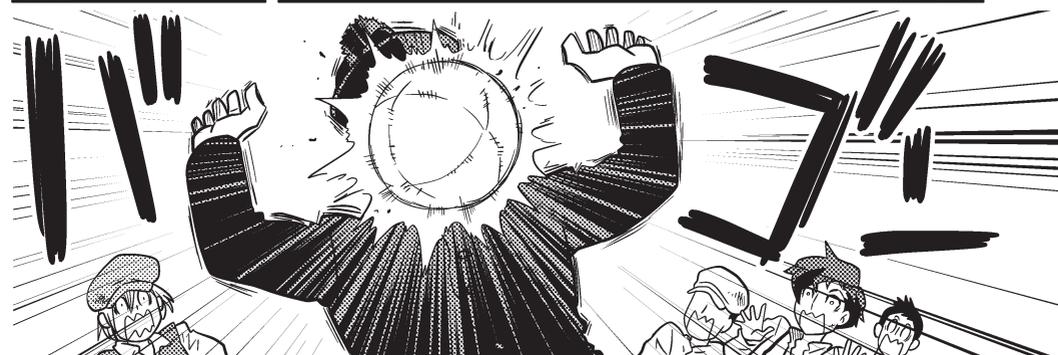


ふーん…
ほんとにいい人なんだ



行くよ
ドン・ボスコ！

よーし
思いっきり来い！



すっげー
ジュゼッペ！

だ…
大丈夫？

やりすぎだぞ！

大丈夫大丈夫！
思いっきり遊んで
楽しめればいいんだ



なんか…
楽しそうだね



私…どうして
こんなところに
いるんだろう…

…帰りたい



さよなら
ドン・ボスコ!

また明日来よ!



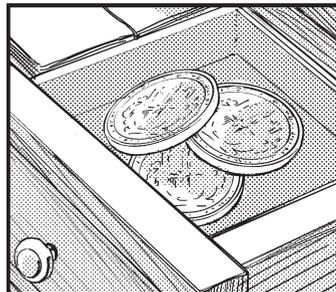
君たちの部屋は
今用意するから

とりあえず
私の部屋で
待っていてくれ



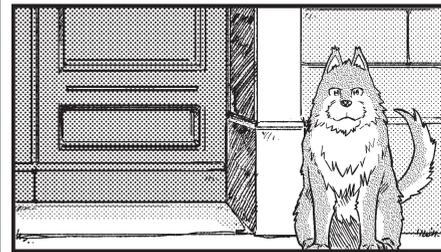
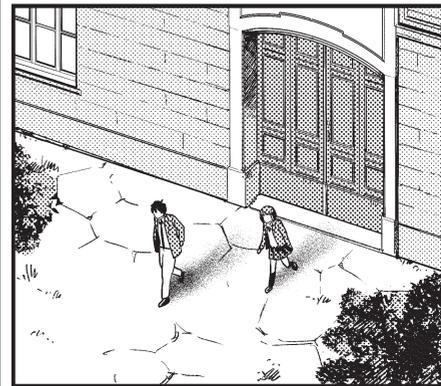
...どうする?

こんな
わけのわからない
ところに
いられるかよ
帰ろう



いいの?

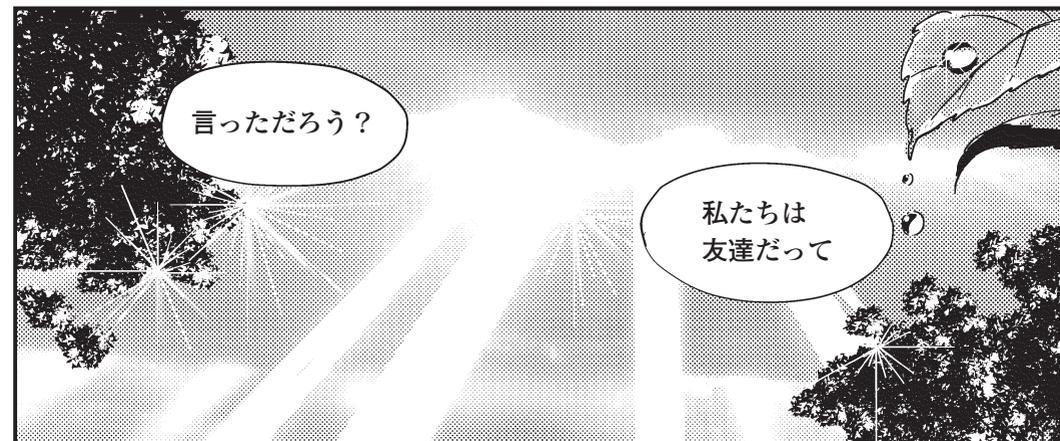
非常事態だよ



やばいな

降ってきそうだ





かんしゅうしゃ うら たしん じ ろうしん ぶ

監修者の浦田慎二郎神父がリクとマナの質問に「お答えします」



リクくん、マナちゃん、はじめまして。浦田神父です。カトリックの司祭で、サレジオ会員、このマンガの監修を担当しています。疑問があればなんでも質問してください！ お答えします。

ここどこ？ オラトリオって何？



私たちがなんだか変なところへ来ちゃったけど…ここはどこなの？



ここは北イタリアのトリノという街。でも、まだイタリアが統一されていなくて、この頃は「サルデーニャ王国」という国の一部だったんだ。



ふーん。で、いつの時代？



19世紀中頃。



すごーい。2世紀も前じゃん。どんな時代なの？



絶対的な王様の時代が終わって、人々が力を持ち始めた時代かな。



王様がいたんだ〜♥私もお姫さまに…



何言ってんだよ…ところでマンガに出てくる「オラトリオ」って何？



ドン・ボスコが始めた、若者たちのための場所のこと。祈り、遊び、勉強、作業、共同生活を行うところだね。



学校みたいなものか…勉強は何を？



読み書きや算数、人によっては神父になるための勉強も！



へー。私たちとは違うね。でもさ、勉強だけでなく遊びもしていたでしょ？



もちろん！ 玉ころがし、石蹴り、戦いごっこ…たくさん遊んでいたよ。



残念〜、スマホのゲームとかなかったんだ。



あたりまえだろ…食事はどんなものを？



パン、スープ、ちょっとしたおかず。肉はあんまり出なかった。



え——。そんなんじゃないよー。ハンバーガーとか食べたいじゃん。



お前な…2世紀も前の話だぞ。



食事はいまいちだけど、楽しそうなおところだよね！ オラトリオ。

chapter 2

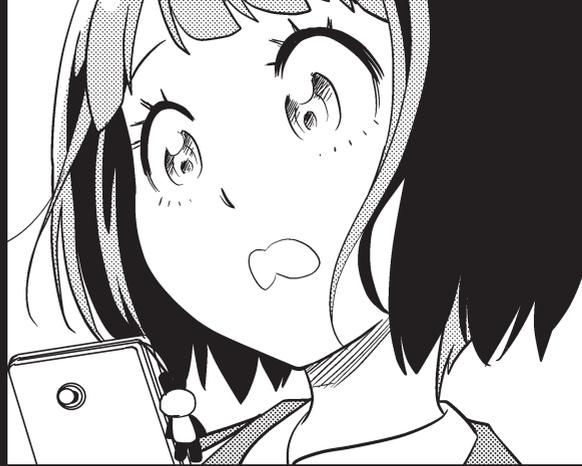
信じる

半年前

あの子、
変なこと聞くけど、
あたし学校で三力たちから
避けられてる？

ミカ

うーん…
メールだから言うけど…
マナちょっとめんどくさ



なんか最初は
すごく友達アピール
してきたのにさ

他の友達にも
同じこと言ってる

結局みんなに
いい顔したいだけって
…バシてんだよね

ちょっと性格悪いよ

え…あたしはただ…
友達と仲良く…

なんか
あんたいないほうが
楽なんだ

待って…

もう一度
私がんばるから

私を信じて

一度失った信用は
二度と取り戻せないんだよ

ふーん…それで
新たな友達探しに
SNSをはじめたのか

SNSでも
苦勞してるけど…
すぐ返信しないと行けたり

ずいぶん小さいことで
悩んだな

他人なんて自分のことは
わかっちゃくれない
…そんなものだって
悟っちゃえばさ

傷つくこともなくて
すげー楽になる

去るものは追わず

俺は
自分しか信じない

それって
人生楽しいの？

お前みたいに
いつも人間関係に過敏に
なるよりはマシだよ

はああ…

人生うまくいかないなあ～

刑務所の若者を
オラトリオの遠足に
連れ出したい？

…また
その話ですか



いけませんあ
ドン・ボスコ

トリノ市責任者
デ・シリオ侯爵



何度も言いますが
彼らは犯罪者です

犯罪者を刑務所の外へ
連れ出すなど
許可できるわけがない



侯爵

私はオラトリオの活動によって
非行少年や刑務所の若者も
更生させることができると
信じています



そのオラトリオ自体も

私は危険な集会だと
判断していますよ



ガラの悪い連中
ばかり集めて
何をやっているかも
わからない

治安は大丈夫かと
市民から苦情も
きているのです

オラトリオの活動は
大司教様に逐一報告
していますし

大司教様の許可の下…



とにかく
刑務所の若者を
外に連れ出すことは
許可できません



そのうちオラトリオの
活動すべてを

大司教を通じて
禁止させるつもりです



私は

世間から
見捨てられた若者たちが
オラトリオによって
危険を免れ



仕事をあてがわれ

刑務所に行くことが
ないように努めています



私は彼らを信頼し
彼らは私を信頼してくれています

オラトリオは
成果をあげているのです



お願いします!



私は若者を
救いたいのです

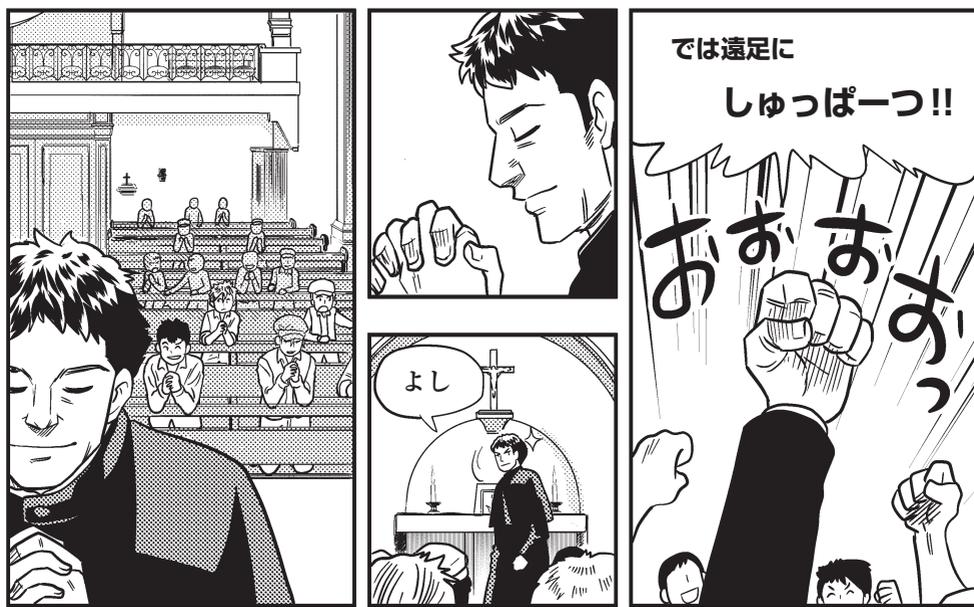
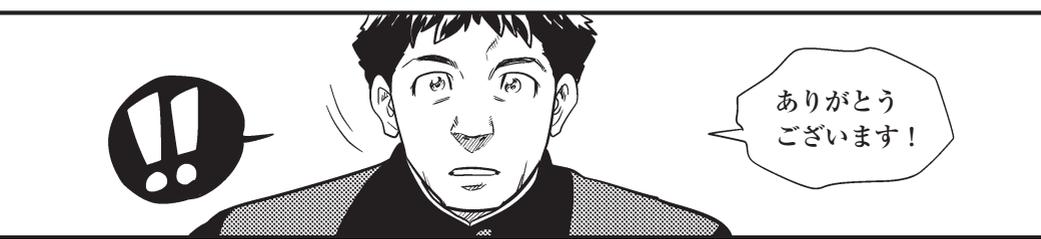
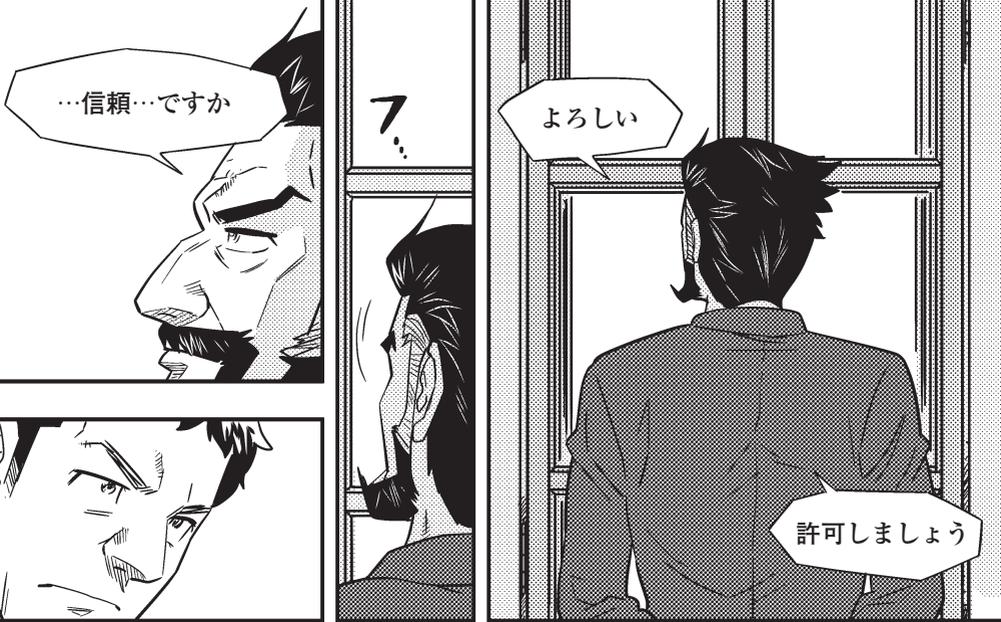
悪臭が立ちこめ 虫がわく
ひどい牢獄に閉じ込めればなしでは
若者たちの心も体も病んでしまいます

何よりも…

それは刑務所の若者も
例外ではありません



彼らには
信頼してくれる大人が
いることを知って
ほしいのです!





ねえリク

あのさ



後ろから
ついてきてる人たち…

ゾロ

ゾロ…



ああ
ドン・ボスコが言った
刑務所のやつらだろ

やややっぱり…!



こわ
怖いなあ…

なあに
何かあったら
俺に任せとけ



大丈夫だよ

ドン・ボスコは
ずいぶん前から彼らと
話をしてきたんだ



何度も何度も
刑務所に通って

彼らの救いとなり
更生の助けになろうと
努力してたのさ

…そうなんだ



彼らも今は
ドン・ボスコを信頼している

何も起きないよ

ほんとに…?

…たぶん



はあ…

やっぱり
まだあの輪の中に
入れないね



入る必要なんて
ない

帰る方法が
わかればここに
用はないからな



よう

あんたら
他のやつらと
なんか違うな



俺はカルロ

見た感じ
あんたらもここが
居づらいようだ

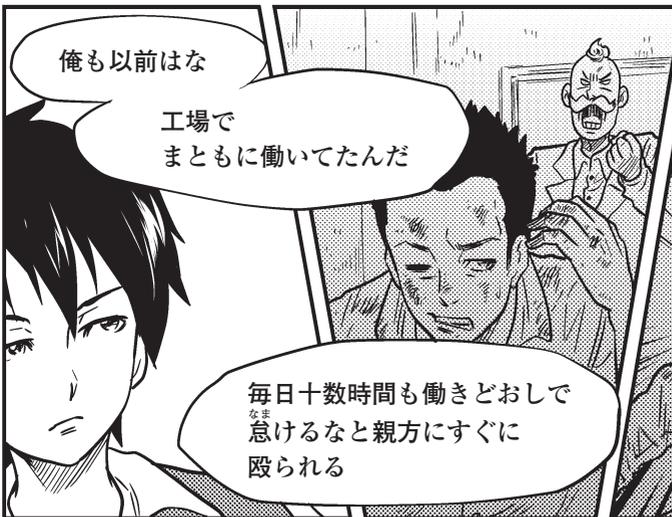


あ……あの…



どうだ？

俺とここを
抜け出さねえか？



俺も以前はな
工場で
まともに働いてたんだ

毎日十数時間も働きどおして
怠けるなと親方にすぐに
殴られる



頭にきて
親方を殴り返し
たら…

こんなガキは
危ないってんで
刑務所に3年よ



大人にとって
俺たちは都合のいい
道具でしかない

あのドン・ボスコってやつだって
俺たちを利用して自分の善人ぶりを
アピールしたいだけなんだ

その手には乗らねえ

今度は俺が
大人を利用する番だ

お前らも
一緒に行こうぜ



……

俺たちはいいよ
犯罪者のあんたは
ドン・ボスコより
信用できない



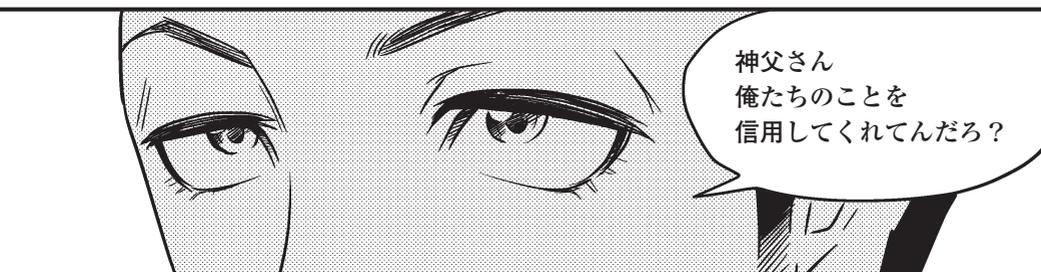
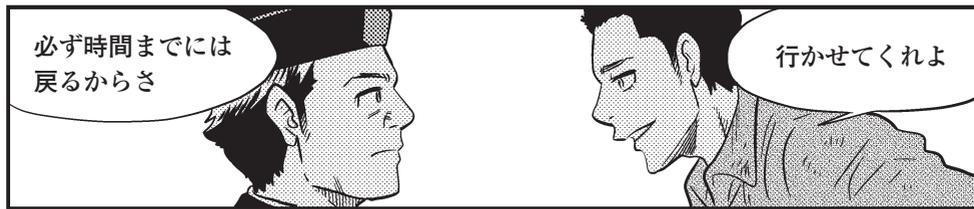
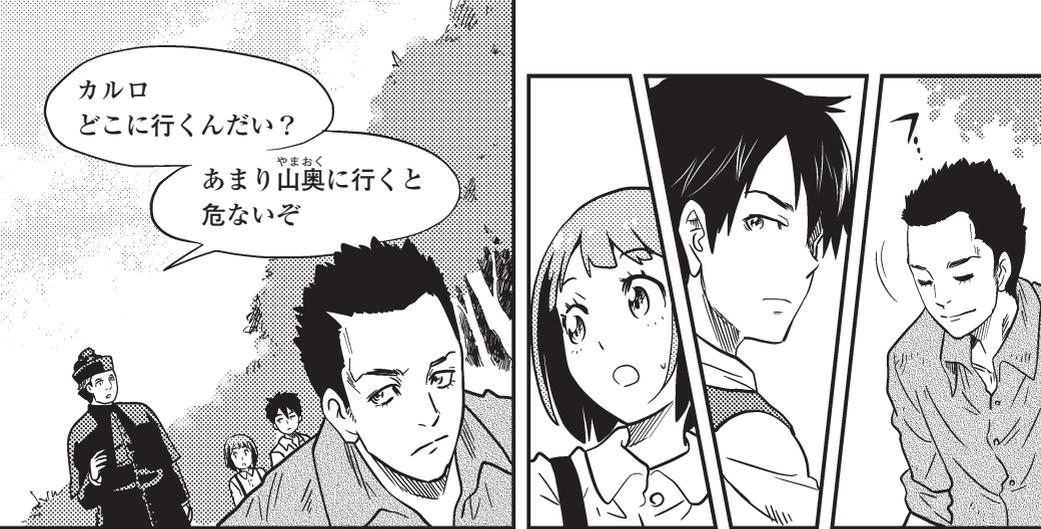
…ケツ

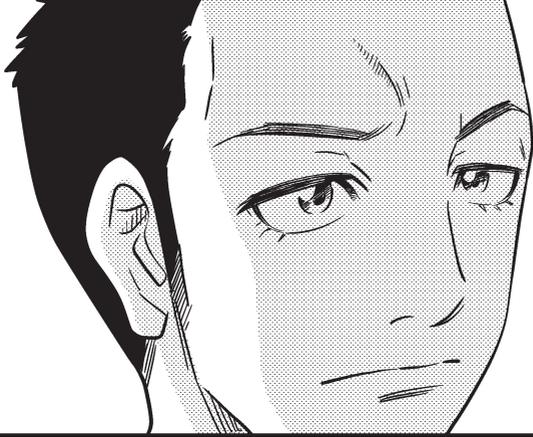


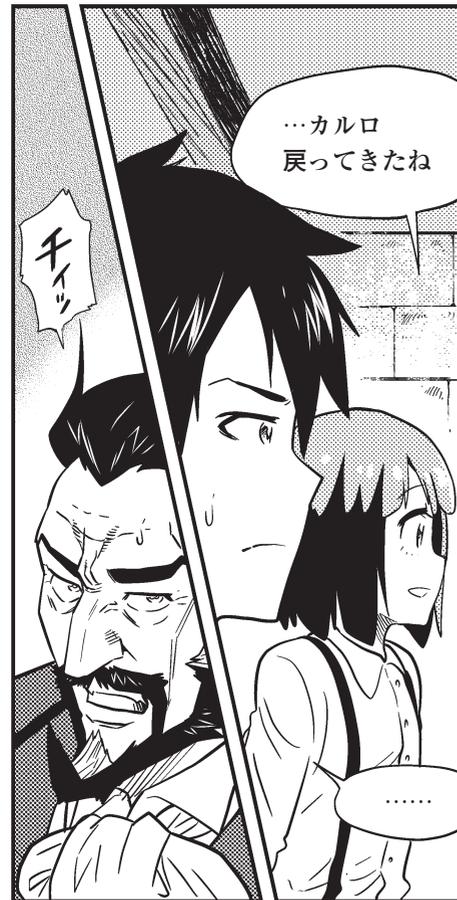
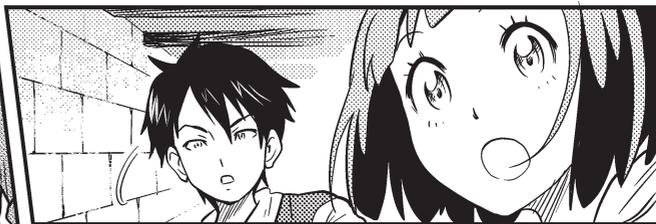
情けねえやつらだな
あの神父の言いなりか

じゃあな









しんぶ
神父さんって？



ドン・ボスコって神父さんなんですよ。神父さんてどんな人？



神父とはキリスト教のカトリック教会における指導者である司祭しさいのことだよ。ちなみに僕も神父です（笑）



そうだったね！ どんな仕事をしているか教えて～



神様のことを教えること。皆のために祈ること。困っている人を助けること。神父は必要があればなんでもするよ。



どうやって稼かせぐんだ？



稼かせぐというか…たとえば学校で働く神父は学校から給料をいただき、教会で働く神父も生活のための給料を教会からいただくよ。



神父さんには誰だれでもなることができるの？



まずカトリック信者であること。そして男性であること。神父になるための勉強をして認めてもらえれば誰でもなれるよ。



俺でも？



そうだよ。



神父さんの服装って決まっているの？



なんだよその質問。



だってドン・ボスコっていつも同じ格好だから。



今でも正式な服装はあるよ。でも普段は自由。ほら、僕も今日はジーンズでしょ（笑）
ドン・ボスコが生きていた19世紀中頃は、神父は「スータン」と呼ばれる黒い服を着て、「トリコルノ」という3枚の羽根が付いた黒の帽子ぼうしをかぶっていたんだ。



あれは神父さんの制服なんだね！ でも、着替えは持っているのかなあ、ドン・ボスコ。



お前なあ…（呆あきれ顔）

chapter 3

あきらめない



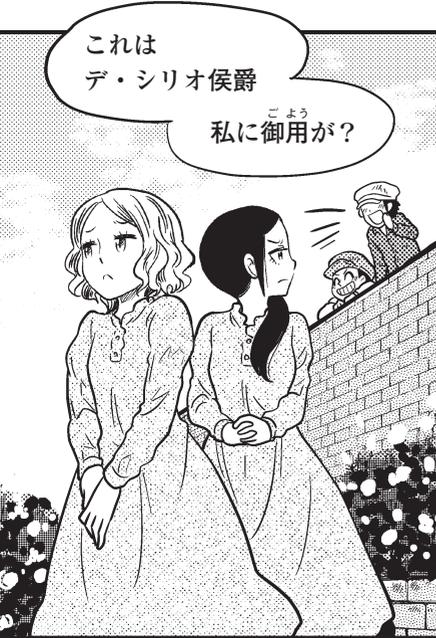
※オラトリオはリフージョの一角に間借りしている



良いのですかな？

ちかごろ
近頃は
リフージョの女子たちと
オラトリオの少年たちとの間に…

うわさ
よからぬ噂が
立っていますぞ

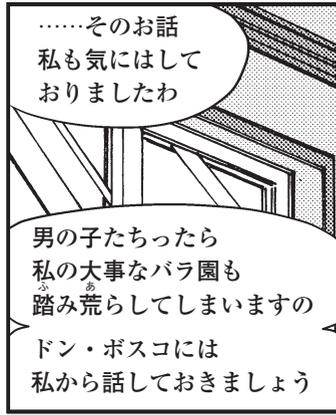


これは
デ・シリオ侯爵
私に御用が？



パローロ侯爵夫人

私は心配
しています



……そのお話
私も気にはして
おりましたわ

男の子たちったら
私の大事なバラ園も
踏み荒らしてしまいますの
ドン・ボスコには
私から話しておきましょう



それで事が
改善しますかな？



すでに街の者は
オラトリオを良く思っていない

当然ですわ
あんな粗野な少年たちを集め
騒ぐ姿をいつも見せられては



警察には「ドン・ボスコは
少年たちを集め何かよからぬこと
を企てているのでは」という話まで
聞こえてくるのです

そのようなこと…
ドン・ボスコは
誠意あふれる神父ですわ



ま…確かに
あくまで噂の域は出ませんが
噂というのはイメージに関わります



あなたが
運営しておられる
リフージョ…

ドン・ボスコは
この施設の一部を借りて

少年たちのために
活動していますな



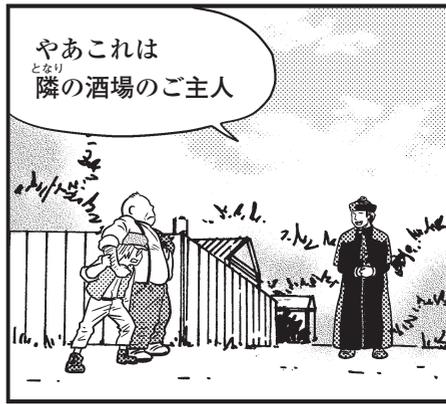
ええ…ドン・ボスコには
女の子たちの教育を頼んでいますが
どうしても男の子たちの場所が
必要だとおっしゃるので…



この噂はいずれ
あなたの事業にも
傷をつけるおそれがある…



ドン・ボスコ!



やあこれは
とわり
隣の酒場のご主人



バルトロメオに
ジョヴァンニ
いったい
どうしたんだ?

困りますな



こいつら
うちの敷地しきちに平気で入りこんで
大騒ぎしてたんだ

ええ!?
それはどうも
申し訳ないことを…

違うよ! 近所の犬が
俺たちのボールを
くわえていったから
取り返してたんだ!



すみません
よく話しておきますので
今日のところは…

これだけじゃ
ないんだよ



毎回毎回
ガキどもが集まると
うるさくてかなわん

どうかしてもらいたい
もんだよ!



は…はあ
申し訳ない



ケッ
なんだよ

あいつの酒場のほうが
いっつもうるさい
じゃないか

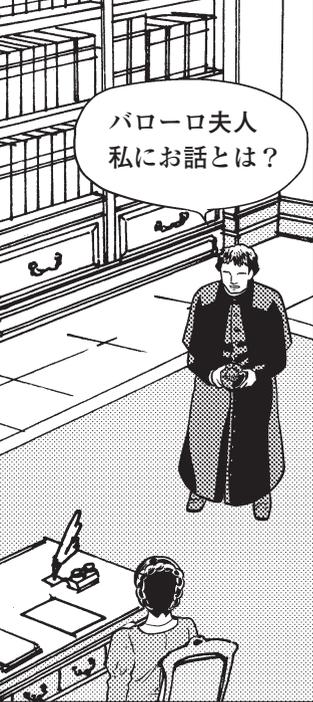
まあこれからは
もう少し周りのことも
気にかけて遊ぶことにしよう



ドン・ボスコ
バローロ夫人が
お呼びですよ

では私は
これで





バローロ夫人
私にお話とは？



ドン・ボスコ

私は最初に
リフージョの女の子たちの世話を
おろそかにしないという約束で
オラトリオの場所を提供したはずですが

でもあなたが夢中
になっているのは
オラトリオの男の子ばかり



もちろん約束は
果たしています

ゴホ

ただ助けを
必要とする少年たちは
まだ大勢いるのです



あら

体調も良くない
ようですわね

その体調で
あの男の子たちの世話は
なおさら無理では
ありませんこと？



私のことならご心配なく
神様はこれまで私を
助けてくださいました

これからもきっと
助けてくださいます

ゴホッ



……

私にはリフージョと
オラトリオの仕事を
両立できるとは思いません
あなたの体調も心配ですし

では
どうすれば……

こうしましょう



オラトリオの活動をおやめになるか
リフージョの仕事をおやめになるか

そのどちらかにして
くださらない？



バローロ夫人
それは……

リフージョの仕事を
やめるということは…



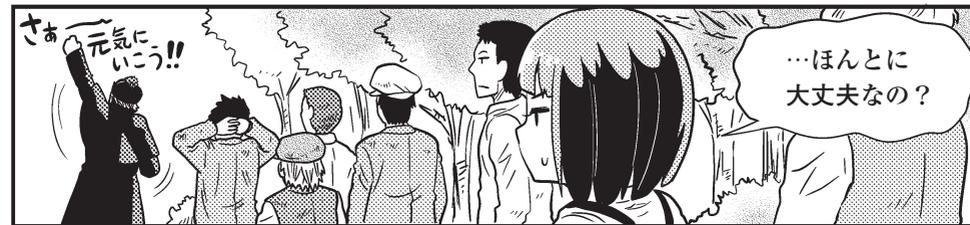
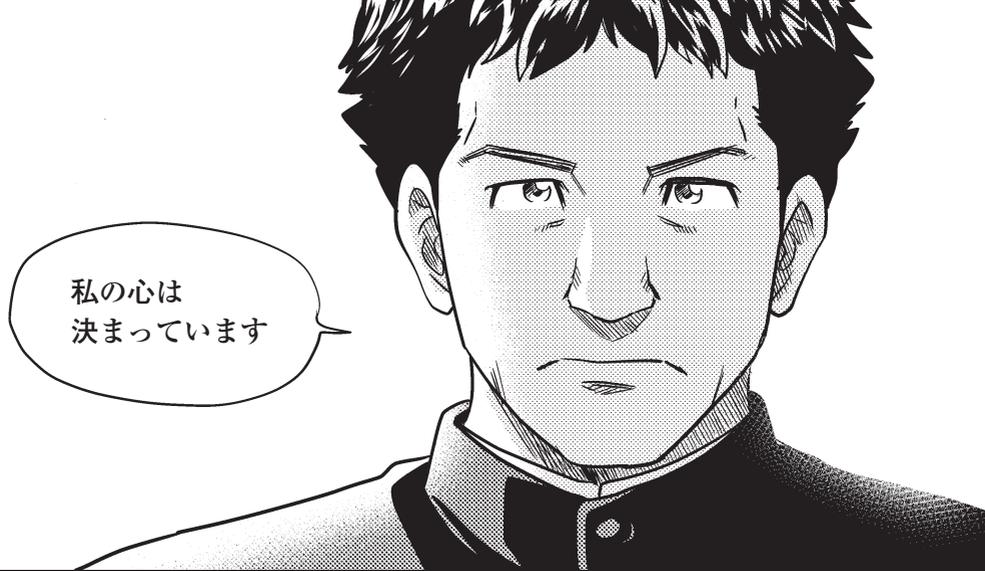
…先ほど
デ・シリオ侯爵が
来ていたようですが
そういうことですか



私にも立場があるのです
あなたには
申し訳ないことを
していると思いますけど…

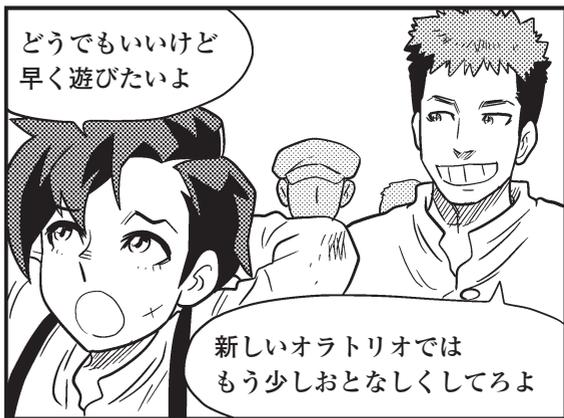


……わかりました





ドメニコ...



どうでもいいけど
早く遊びたいよ

新しいオラトリオでは
もう少しおとなしくしてろよ



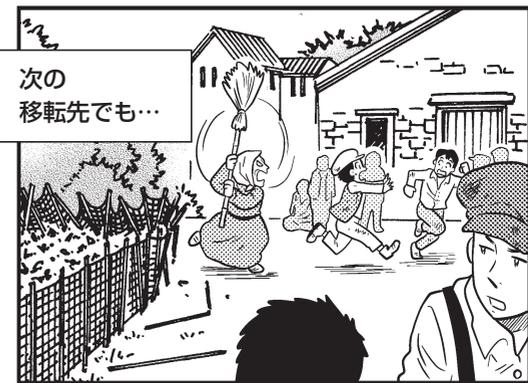
いっ!
お互いにな!



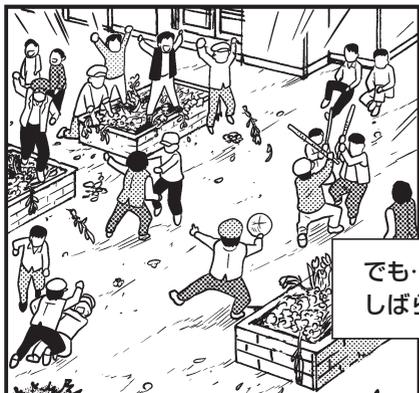
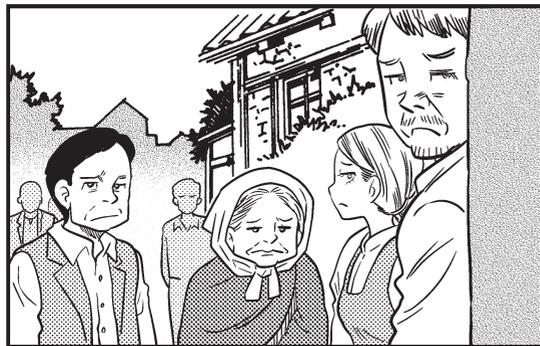
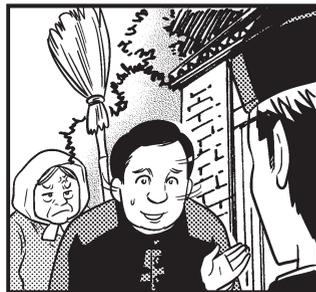
その後 俺たちは
ドン・ボスコの
知人の教会の敷地に
落ち着くことができた



心配ないよ
すぐに新しい場所が
見つかるさ



次の
移転先でも...



でも...
しばらくすると...



俺たちは
次々と居場所を
失っていった

フィリッピ兄弟から借りた牧草地



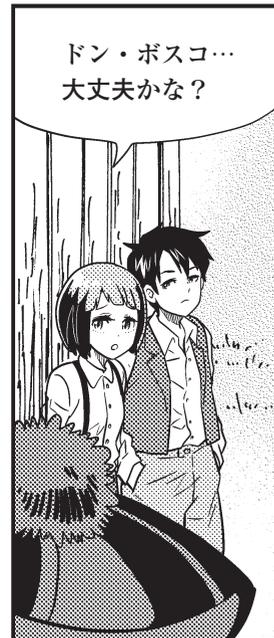
やっとこの牧草地に落ちついたけど...

ここが使えるのも今日までらしい



もうどこにも行くところがない...

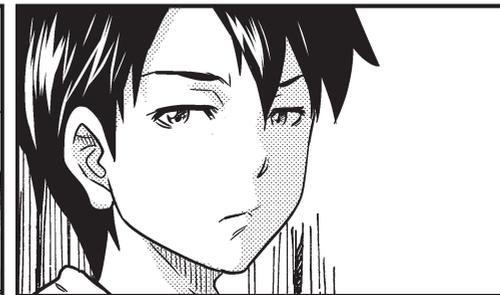
子どもたちのオラトリオも今日が最後か...



ドン・ボスコ...大丈夫かな？



体調も悪いみたいだし...



ドン・ボスコ



もう無理なんだよ



いつまでもこんなにたくさん子どもたちを連れて歩くなんでできるわけがない

街の人の反応を見ただろ？



街ではあなたのことを頭のおかしい人だとか

若者たちをあおってかくい革命を起こそうとしているとか

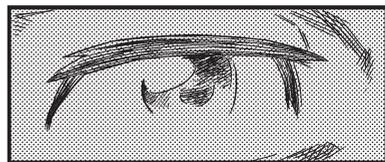
好き勝手噂してる



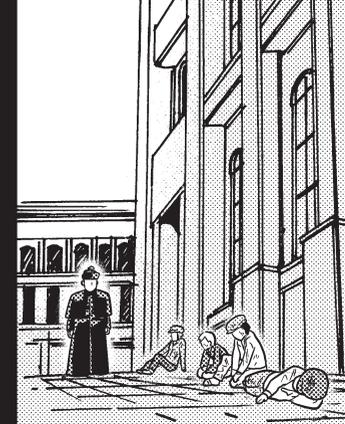
そんな酷いこと言われて
何度も追い出されて…

続ける意味
あるのか？

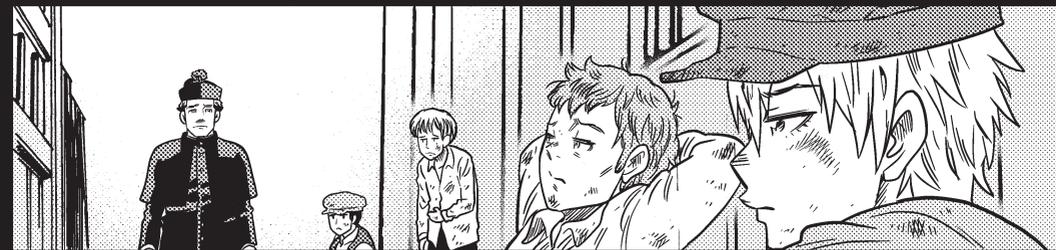
このオラトリオ
っていうの…



若者たちは
ひどい環境で働かされ



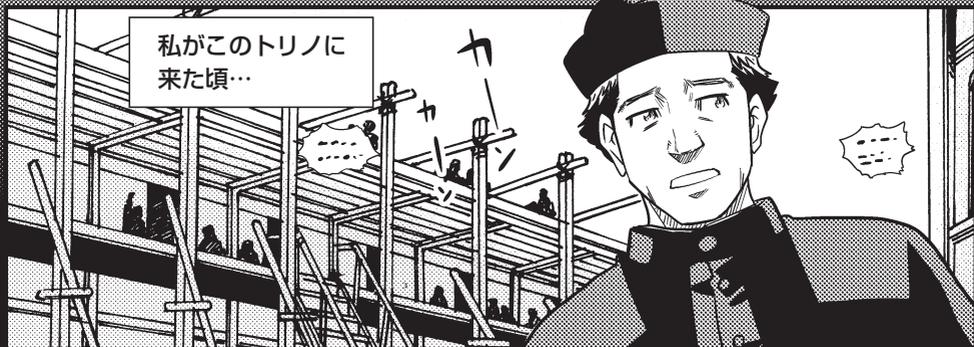
街には
食べ物や住む場所もなく
自分の力ではどうしようもない
生活を送る若者もたくさんいた



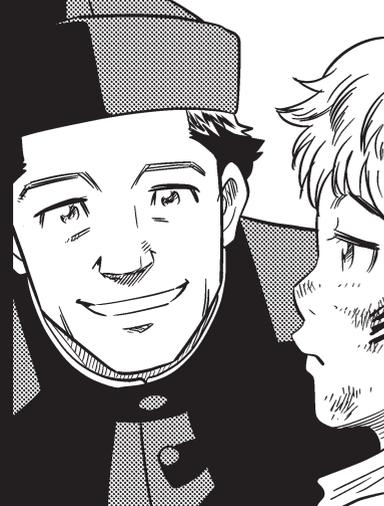
私は
できるだけ多くの若者を
オラトリオに誘った



柄の悪い子もいたが…



私がこのトリノに
来た頃…



みんな
オラトリオでの遊びや
勉強に興味を示してくれた